


様式(細則 5-2)

令和 2 年 7 月 31 日

浜田市議会議長 川神 裕司 様

議員名 西川 真午 

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため(視察・**研修**)を(実施・**受講**)したので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 2 年 7 月 20 日 (月) 12 : 30 から
令和 2 年 7 月 22 日 (水) 12 : 15 まで
2. 視察・研修内容 市町村議会議員研修 社会保障・社会福祉
3. 視察先又は研修先 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)
4. 調査経費 21,364 円
(経費内訳 研修費 7,900 円、振込手数料 220 円
交通費 高速バス 11,400 円
JR 往路 240 円
JR 復路 240 円
ガソリン代 1,364 円)



5. 調査研究活動の概要

(1) 講義・演習

- ・テーマ：社会保障制度の動向と地域の「しんがり」としての市町村
- ・講師：慶応義塾大学経済学部 教授 駒村 康平

(2) 講義

- ・テーマ：地域医療の現状と課題
- ・講師：九州大学 名誉教授 尾形 裕也

(3) 講義

- ・テーマ：ひきこもりにおける地域支援の真価
- ・講師：跡見学園女子大学 教授 鍵屋 一
山口大学大学院医学系研究科 教授 山根 俊恵

(4) 講義

- ・テーマ：介護保険と地域包括ケアシステム
- ・講師：淑徳大学コミュニティ政策学部 学部長・教授湯 鏡 諭

(5) 講義（オンライン）

- ・テーマ：地域における子育て支援—少子化対策の視点から
- ・講師：中央大学現代社会学部 教授 松田 茂樹

(6) 講義

- ・テーマ：地域福祉における住民との連携
- ・講師：日本福祉大学福祉経営学部 教授 後藤 澄江

6. 所 感

今回の研修では、社会保障・社会福祉の分野の第一線で活躍する講師陣から、地域医療、ひきこもり、介護、子育て、地域福祉を取り上げたテーマの講義を受けた。少子超高齢・人口減少社会が抱える課題として、「2025年問題」や「2040年問題」、「8050問題」などがあり、新たな問題に対応する社会保障・社会福祉の見直しが求められている。講義では、今後、地域として必要な仕組みづくりなどについて学んだ。今回の研修の成果を議員活動に生かすためには、まず浜田市における社会福祉の実態を把握することが重要である。特にひきこもりなど生きづらさを抱え社会参加ができずに、生活困窮に陥っている方への支援なども今後必要な施策であると感じた。

受講証明書

団 体 名 : 島根県 浜田市

所属・氏名 : 浜田市議会 議員 西川 真午

研 修 名 : 令和2年度市町村議会議員研修 [3日間コース] 「社会保障・社会福祉」

期 間 : 令和2年7月20日 (月) ~ 7月22日 (水)

上記の研修を受講したことを証明します。

令和2年7月22日

全国市町村国際文化研修所
学 長 藤 原 通 孝

